

## 粉体の輸送

## 適用範囲

本対策シートは、リスクレベル 3 が適用されるときに使用する。

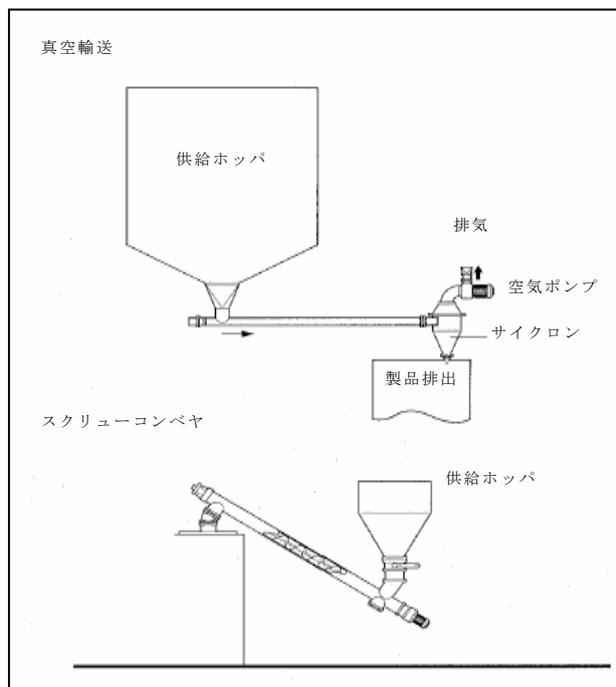
本対策シートは、粉体を輸送するときの好事例および化学物質のばく露を許容できる濃度まで低減するために必要な注意事項を示す。すべての好事例と注意事項に従うことが重要である。化学物質によっては引火性または腐食性があるので、これらの危険性に対しても適切な管理が必要である。詳細は、各化学物質の安全データシート（SDS）の注意事項を参照すること。

本対策シートは作業者の健康を守るための最低限の基準を示すが、工程管理またはその他のリスク管理に必要な基準より低い管理基準を正当化するために利用してはならない。

## 作業場

- 関係者以外を作業場に入れないようにし、風下で誰も作業していないことを確認すること。

## 設計と装置



- 真空輸送やスクリーユコンベヤなどの密閉システムに対応できる輸送システムを使うこと。
- システムからの漏れがないこと、および接合部にシールが取り付けられていることを確認すること。
- 扱う粉体による磨耗を考慮し、各装置には堅牢な材料を使うこと。
- 振動パッドやエアジェットなど、密閉システムの密閉度を低下させずに閉塞物を取り除く方法を検討すること。
- 可燃性の粉体を扱う場合は、防爆措置の必要性を検討し、装置を確実に固定してアースを確実に取ること。

- 清掃および保守時の安全と作業性を考慮して、システムをスライド式または分離式にすること。
- 制御機能が正しく動作しているかを簡単な方法で確認できるようにすること。
- 屋外の安全な場所に排気すること。

本シートは、ILO の著作物である「The Chemical Control Toolkit」について、厚生労働省が ILO より許諾を得て翻訳し、内容の改変を行ったものである。

原本：[http://www.ilo.org/legacy/english/protection/safework/ctrl\\_banding/toolkit/icct/sheets/tcs-303.pdf](http://www.ilo.org/legacy/english/protection/safework/ctrl_banding/toolkit/icct/sheets/tcs-303.pdf)

Original version of the International Chemical Control Toolkit Copyright © International Labour Organization.

Japanese translation Copyright © 2012 Chemical Hazards Control Division, Ministry of Health, Labour and Welfare.

The ILO shall not be responsible for the quality and accuracy of the translation.